

令和7年度 事業所における自己評価総括表（ドットジュニア あすみが丘第1教室（放課後等デイサービス・児童発達支援））

子ども家庭庁が定める「放課後等デイサービスガイドライン」「児童発達支援ガイドライン」に基づいて、さらに強化・充実を図るべき点（事業所の強み）や、課題や改善すべき点を整理・分析しています。この自己評価総括表をもとに、業務・サービスの資質向上や改善をしていくことを目的としています。

＜保護者アンケート調査時期：R7/11/17~R7/12/5＞ ＜職員アンケート調査及び検討時期：R7/11/17~R7/11/25＞

強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
朝礼や終礼の時間に、職員間で支援内容を振り返り、話し合う機会がある。	・朝礼や終礼を通し、個人でのアプローチ方法、児童間の交友関係、児童に対する対応方法を各職員が考えを持つことが出来ていると感じています。	・各児童に対する支援のゴールが全員同じ角度で見られるように朝礼・終礼とは別に個別支援計画作成の担当者会議などの頻度を多くしていきます。
研修や事業ポリシーで学んだことを、日々の支援に活かしている	研修を通して、事業ポリシーの読み合わせを実施してドットジュニアとして何を大切にしていくか。の理念を職員で共通認識として行動に移すことが出来るように意識しています。	・理念といったものを具体的に行動としてどのように落とし込んでいくのか？の部分を目次の終礼として職員間で話をする時間を設けていきます

弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	拠点として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取り組みや工夫が必要な点等
・環境整備として安全確保のための物の収納やエアコンなどの見えない部分の清掃に課題を感じているという職員がおります。	・何をどこに片づけるのか？などのルールが場当たりのになってしまっていると感じています。 ・エアコンや換気扇といった日次で実施しない清掃のスケジュールが設定されておらずそのままになっていることがあります	・片付けをする際に具体的に写真なども収納ボックスに貼り付け、視える化をしていきます。 ・エアコンや換気扇、蛍光灯、窓などは行き当たりばったりではなく年次の清掃スケジュールを作成して定期的に管理していきます。
日々の支援を行うための人数体制について、支援に必要な人数が確保されている時とそうでないことがあると感じる職員がおります。	・常勤職員数に余裕がなく、突発的な欠勤への対応が難しい状況です。	・人員体制の見直しや、必要に応じた増員の検討、事前のシフト調整を行います。
・業務効率化や業務改善に対する取り組みをもっと話し合う時間が欲しいという職員が複数おります。	・各職員ごとの業務量の差があり、時間に余裕を持てている職員とそうでない職員とで分かれています。またMTGの際にここまで話せば良い。と感じる職員ともっと話したいという職員とで求める情報量に差があることを感じております。	・個々の職員の業務量を調整して会議や他の活動に充てられる時間を増やしていきます。 ・月次で職員から教室の改善を募るMTGなどを開催して業務改善を図っていきます。